

伝統工芸品等のデザイン・商品化に関する研究

—現代生活空間における漆の配色に関する研究—

(第2報)

Study of the traditional crafts for creating new products which adopted design awareness

- Analysis of color scheme suitable for the modern living space -(Part 2)

小松 勇、伊藤 健、小野 大輔

第2報では県内家屋の配色調査と併行して実施した調査対象者（エンドユーザー）の実状を把握するため、聞き取りによるアンケート調査について報告する。

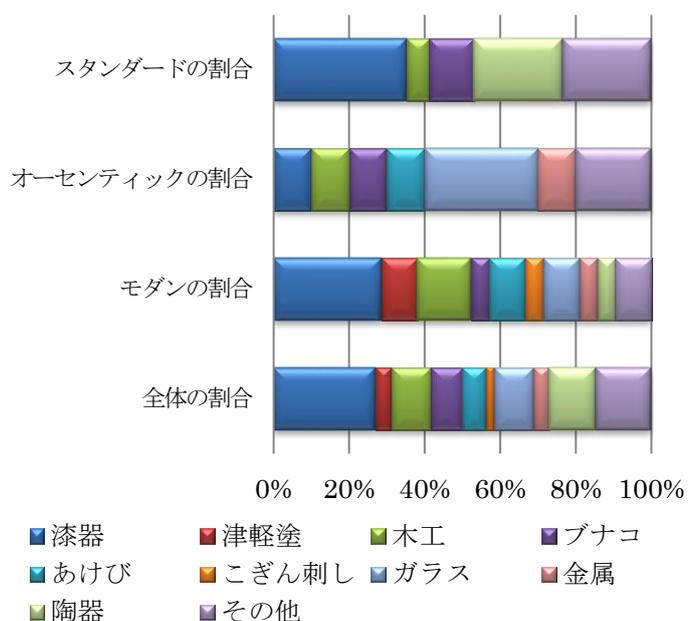
調査は、配色調査と同様にそれぞれの住宅のデザインテイストを「モダン」「オーセンティック」「スタンダード」の3分類とした。3分類比はモダン 44%、オーセンティック 22%、スタンダード 34%であり、調査票（下図左）は、「年齢」「性別」「居住年数」「業種」「家族構成」「世帯年収」「趣味」など属性を得るための基本回答を主に施主から得た。加えて調査対象者の嗜好・訴求データ取得のための自由回答については同席している施主のほか同居者にも回答を頂いた。

結果、「モダン」では40代が半数を占めインテリアに拘りがあり、各々の個性を主張している。また、高品位な素材への興味を持っており、訴求する工芸品では漆器の割合が多く津軽塗を加味すれば全体の4割を占め他では見られない特徴がある。「オーセンティック」は60代以上が70%を占めており「落ち着き感」「安心感」を尊重し、それから逸脱したものは好まない傾向にあると思われた。訴求する工芸品はガラス製品が30%と最も多い率だった。「スタンダード」は各年代がほぼ同じ割合であり基本的な志向は「プレーン」「自然志向」などの群にまとめられる。訴求する工芸品では津軽塗以外の漆器や陶器を好む傾向があるとわかった。

以上の調査結果を踏まえ、次年度は製品構想を実施し企業の製品開発に結びつける計画である。

配色調査のための基礎アンケート			
<p>この度は地弘前地域研究所の配色調査にご協力をお願いいたします。この配色調査は漆器や木工製品をはじめとする県内工芸品のより良い商品開発することを目的としています。つきましては、お忙しい中恐れ入りますが基礎アンケートにお答えいただき貴重なご意見を聞かせください。</p> <p>なお、このアンケートは無記名ですので、特定の個人が識別できる情報として、公表されることはありません。</p>			
【基本項目】	年齢	性別	居住年数
業種	家族構成		
世帯年収	200万円・400万円・600万円・800万円・800万円以上		
ご趣味			
Q1. ご自宅の中で(リビング・ダイニングなど)一番気に入っている場所はどこですか？			
Q2. こだわりの場所で一番気に入っている点はなんですか？			
Q3. 好きな工芸品、使っていた工芸品はございますか？			
ある ない (○でチェックしてください)			
Q4. Q3で「ある」とご回答した方にお聞きします。それはどんな工芸品ですか？			
Q5. Q4でご回答した方にお聞きします。それはどの場所でどんな雰囲気(シーン)で使っていますか？			
Q6. 配色やインテリアに思い入れがございましたら、ご自由にお書きください。			
ご協力ありがとうございました			

聞き取りアンケート表



欲しい工芸品の種類